

# 平成28年度関東倶楽部対抗第4ブロック大会 組み合わせ及びスタート時間表

(参加者 22倶楽部 ・ 132名)

期日：6月21日(火)

場所：日光カンツリー倶楽部

(18ホール・ストロークプレー)

関東ゴルフ連盟

1番よりスタート

## Aクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
1	8:00	橋本 和一	ゴールドンレイクス	長谷川 仁	猿島	宮 辰夫	習志野		
2	8:09	山下 勝紀	扶桑	平澤 良雄	水戸	黒沢 登美夫	金砂郷		
3	8:18	杉山 伸一郎	姉ヶ崎	高橋 憲一	加茂	永野 真美	土浦	志村 幹夫	大洗
4	8:27	古澤 章司	ディアレイク	出山 泰弘	水戸グリーン	高安 伸也	芳賀	光山 勝則	皐月・佐野
5	8:36	若林 新平	日光	福原 純一	上総富士	穴戸 重一	東松苑	富澤 寛史	鹿沼72
6	8:45	福田 正明	富士笠間	松下 宗嗣	カレドニアン	西山 寛	鷹之台	高橋 康之	ノースショア
7	8:54	木村 光方	習志野	国谷 賢吉	ゴールドンレイクス	白井 健司	水戸	佐久間 義雄	姉ヶ崎
8	9:03	渡部 儀勝	土浦	江連 秀樹	ディアレイク	永井 孝之	芳賀	戸祭 康夫	日光
9	9:12	菊名 浩行	東松苑	半沢 秀幸	富士笠間	鈴木 宣弥	鷹之台	鈴木 清治	猿島
10	9:21	辻本 太平	大洗	佐藤 幸也	金砂郷	磯野 芳	加茂	加園 浩	扶桑
11	9:30	中村 守	水戸グリーン	和泉 一夫	皐月・佐野	大野 良司	上総富士	村山 周一	鹿沼72
12	9:39	上薮 健一	カレドニアン	平山 芳照	ノースショア	矢吹 元良	ゴールドンレイクス	水津 登	扶桑
13	9:48	亀井 宏一	姉ヶ崎	長野 雄一郎	大洗	相田 喜久夫	芳賀	奥 正昭	上総富士
14	9:57	藤井 勝利	富士笠間	片岡 包行	ノースショア	逆井 英雄	猿島	入野 康昭	水戸
15	10:06	那須 久治	加茂	寺沢 洋	ディアレイク	橋本 和男	皐月・佐野	大和 克己	東松苑
16	10:15	佐々木 龍二	カレドニアン	福山 憲一	習志野	宇佐美 正仁	金砂郷	大野 政治	土浦
17	10:24	宇留野 彰	水戸グリーン	与倉 博逸	日光	坂本 茂	鹿沼72	笠川 喜久男	鷹之台

10番よりスタート

## Bクラス

組	時間	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部	氏名	倶楽部
18	8:00	小野 慶	ゴールドンレイクス	河内 喜文	水戸	齋藤 和彦	土浦		
19	8:09	舘野 章	芳賀	田口 敦	東松苑	瀬戸 信昭	鷹之台		
20	8:18	菅野 智次郎	猿島	宮崎 仁知	金砂郷	岩間 智也	大洗	木下 輝洋	皐月・佐野
21	8:27	児矢野 政勝	鹿沼72	溝井 献也	ノースショア	小寺 聡司	習志野	堀口 勝巳	姉ヶ崎
22	8:36	藤城 拓也	ディアレイク	斎藤 信一郎	日光	吹野 耕一	富士笠間	才記 正明	扶桑
23	8:45	望月 幹仁	加茂	木村 利治	水戸グリーン	黒川 悟	上総富士	鈴木 秀恒	カレドニアン
24	8:54	岡野 智弘	金砂郷	滝沢 真澄	ゴールドンレイクス	高村 敏行	ディアレイク	森 正樹	上総富士
25	9:03	山岸 邦幸	鷹之台	青木 拓史	猿島	堀内 和昭	姉ヶ崎	大澤 信行	水戸グリーン
26	9:12	島田 将行	東松苑	永田 昭二	ノースショア	青木 慶太	習志野	嶋野 菊治	加茂
27	9:21	進藤 祥史	扶桑	小木 久	鹿沼72	望月 泰廣	芳賀	服部 昇平	土浦
28	9:30	早乙女 剛史	皐月・佐野	中野 正義	富士笠間	木名瀬 和重	水戸	菊池 新平	大洗
29	9:39	宿谷 郁男	日光	谷内 三千夫	カレドニアン	小林 聡夫	ゴールドンレイクス	齋藤 芳英	姉ヶ崎
30	9:48	船越 秀人	芳賀	太田 智喜	富士笠間	志村 哲	猿島	土井 克祥	加茂
31	9:57	中島 正春	皐月・佐野	森塚 実	カレドニアン	渡辺 嘉男	習志野	五十嵐 邦之	土浦
32	10:06	吉柴 利安	鷹之台	廣田 剛治	日光	平野 忠則	扶桑	幡谷 仙秀	大洗
33	10:15	平野 正行	上総富士	中馬 秀興	ノースショア	市川 義勝	水戸	秋元 真一	ディアレイク
34	10:24	中山 守	金砂郷	湊 弘充	東松苑	小暮 大輔	水戸グリーン	坂本 光浩	鹿沼72

競技委員長 豊泉幸夫

## 平成 28 年度 関東倶楽部対抗第 4 ブロック大会

開催日 : 6 月 21 日 (火)

開催コース : 日光カンツリー倶楽部

本競技は日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこのローカルルールと競技の条件を適用する。

本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は競技規定やプレーヤーへの通知文書、または競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。

ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、このローカルルールと競技の条件の違反の罰は、「2 打」とする。

### ローカルルール

- アウトオブバウンズ(規則 27-1)  
アウトオブバウンズの境界は白杭をもって標示する。
- ラテラル・ウォーターハザード(規則 26-1)  
ラテラル・ウォーターハザードは赤杭または赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。
- 修理地(規則 25-1)  
修理地は青杭を立て、白線をもってその限界を定める。
- 動かさない障害物(規則 24-2)
  - 排水溝
  - 人工の表面を持つ道路に接した排水溝(その道路の一部とみなす)
  - 動かさない障害物と白線でつながれている区域(その動かさない障害物の一部とみなす)

### 距離表

HoleNo.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	OUT
AｸﾗｽYards	395	389	152	559	386	350	400	188	513	3332
BｸﾗｽYards	407	407	170	580	400	350	420	210	513	3457
Par	4	4	3	5	4	4	4	3	5	36

10	11	12	13	14	15	16	17	18	IN	TOTAL
518	419	192	500	350	402	179	388	404	3352	6684
518	436	192	547	350	415	207	410	422	3497	6954
5	4	3	5	4	4	3	4	4	36	72

## 競技の条件

### 1. 参加資格

プレーヤーは競技規定に定められた参加資格を満たさなければならない。

### 2. 委員会の裁定

委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。

### 3. 使用クラブの規格

『適合ドライバーヘッドリストの条件・付属規則 I(B)1a』を適用する(ゴルフ規則 176 ページ参照)。

### 4. 使用球の規格

『公認球リストの条件・付属規則 I(B)1b』を適用する(ゴルフ規則 177 ページ参照)。

### 5. ゴルフシューズ

正規のラウンド中、プレーヤーが金属製・セラミック製、または委員会がそれと同等と認めた鋳を有するゴルフシューズを使用することを禁止する。この条件の違反の罰は競技失格。

### 6. プレーの中断と再開

(1) 通常のプレーの中断(落雷などの危険を伴わない気象状況)については、規則 6-8b、c、d に従って処置すること。

(2) 険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレー中断となった場合、同じ組のプレーヤー全員がホールとホールの間をいたときは、各プレーヤーは委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1 ホールのプレーの途中であったときは、各プレーヤーはすぐにプレーを中断しなければならない。その後、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。プレーヤーがすぐにプレーを中断しなかったときは、規則 33-7 に決められているような罰を免除する正当な事情がなければ、そのプレーヤーは**競技失格**となる。

険悪な状況による中断中は、委員会がオープンと宣言するまで、すべての練習施設はクローズとなる。クローズとなった練習施設で練習しているプレーヤーは練習を止めるように要請される。その要請に従わなかった場合、参加を取消しとすることがある。

(3) プレーの中断と再開の合図について

通常のプレー中断	:	} 放送にて通報する。
険悪な気象状況による即時中断	:	
プレーの再開	:	

と同時に、本部より競技委員を通じてプレーヤーに連絡する。

### 7. 練習

ホールとホールの間での練習を禁止する(規則 7-2 注 2)『付属規則 I(B)5b』(ゴルフ規則 181 ページ参照)。

### 8. 移動

『付属規則 I(B)8 移動』を適用する(ゴルフ規則 183 ページ参照)。

### 9. キャディー(規則 6-4 注)

正規のラウンド中、プレーヤーが委員会によって指定された者以外をキャディーとして使用することを禁止する。この条件の違反の罰は『付属規則 I(B)2』を適用する(ゴルフ規則 179 ページ参照)。

### 10. 競技終了時点

競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

## 注意事項

1. 競技の条件 5 項において規制されるシューズ以外にもパッティンググリーンに著しく損傷を与えるシューズは使用禁止とすることがある。
2. 競技委員会は競技中を含めいつでも、出場にふさわしくないと判断したプレーヤーの参加資格を取り消すことができる。
3. 打放し練習場においては備付けの球を使用し、スタート前の練習は 1 倶楽部 6 箱(144 球)を限度とする。

競技委員長 豊泉幸夫